

令和7（2025）年10月9日

第3回定例会を終えて（談話）

東京都議会立憲民主党・ミライ会議
・生活者ネットワーク・無所属の会
幹事長 竹井ようこ（小平市）

本日、第22期東京都議会最初の定例会となる第3回定例会が終了しました。

東京都議会立憲民主党・ミライ会議・生活者ネットワーク・無所属の会は、知事提出の全議案に賛成しました。

私たちの代表質問に対して、小池知事から7問の答弁がありましたが、議論の深さという点では課題が多く残りました。私たちは、引き続き、知事ら執行機関と真摯な議論を交わし、都民のための都政実現を目指していきます。

人権尊重と多文化共生についても知事から答弁がありましたが、世界的な分断や排他的な流れに対峙し、取り組みを一層進めるべきとも主張しました。

持続可能な賃上げでも、私の求めに応じて、「公労使による『新しい東京』実現会議」で「持続可能な賃上げ」をテーマとすることになりましたが、賃上げが確実に実行されることが必要で有り、その取組を注視していきたいと考えています。

都営住宅会計の消費税納付漏れ問題では、私たちは、知事の自身の責任を認める謝罪を求め、監察結果に基づく厳正な対応と、全庁的な徹底した再発防止策を強く求めました。

火葬料金の引き下げでは、私たち提言を受け、知事が所信表明で「法の見直し」や「火葬能力の強化」に言及したことは評価しつつも、スピード感をもった対応を求めました。

東京都平和祈念館の整備では、知事が「都議会での一定の審議と合意が必要」と従来の答弁を繰り返したことは残念ですが、私たちは、引き続き、平和施策の前進に取り組んでいく決意です。

大川原化工機の冤罪事件では、警視總監に対して、人権意識を涵養するため教育をすべきと求めるなど、再発防止の徹底を求めました。

また、一般質問では、関口健太郎都議が、火葬料金の引き上げや住宅施策、美容医療などについて、おけやまさと都議が、子どもへの虐待や社会的養護、新空港線などについて、細貝 悠都議が、自動運転や不登校問題、障害者施策や平和施策などについて、それぞれ質問しました。

東京都議会立憲民主党・ミライ会議・生活者ネットワーク・無所属の会は、人権を尊重し、多様性を認め合い、誰もがその人らしく生きられる東京の実現に向け、全力で取り組んでいく決意です。

以上